

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生けがきづくり奨励事業			事業開始年度	平成 8年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	轡田親志			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	生けがきの設置により緑化を図り、緑あふれるまちづくりに寄与する。						
事業の概要	市内の住宅・事業所の同一敷地内に1回限り生けがきづくりの補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		14		150	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		整備された生けがきの延長	m	10	21	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	整備された生けがきの延長が伸びた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	桜つつみ整備事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	河川堤防に桜を植栽することにより、緑化推進と良好な水辺空間が形成され、河川景観が向上して新たな観光資源として活用できる。						
事業の概要	・河川管理者である国土交通省や栃木県が、河川堤防に盛土と張芝を行い、市が用地買収・桜の植栽工事を実地する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,918		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		植栽本数	本	0			
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	景観計画事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	轡田親志			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	本市の魅力ある景観・街並みの形成。						
事業の概要	本市の良好な景観の形成がされ歴史的な街並み及び自然環境の保全。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	620		4,234		844	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		景観計画策定件数	件	0	1		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	景観計画の素案が作成できた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	桜の郷づくり事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	総務部 企画政策課		担当者	高橋岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	さくら市の資源である「桜」への意識高揚を図り、市民と行政の協働による“桜の郷づくり”を進める。						
事業の概要	市民を対象に・桜学び講座・桜守体験を開催し、講座で学んだことを活かし、地域の桜を地域住民で保存、継承する。桜を地域で植栽し育てる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	26		1,033		1,927	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	桜の郷づくり事業に参加した市民の数	人	93	115	120	130
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	講座や施肥作業に参加する市民の人数が増加しつつあり、そこで学んだことを活かし、市民自らが団体を設立し、地域の桜を育てたり、イベントを開催するなど、市民の関心や愛着が高まってきている。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	桜つつみ維持管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	渡辺 和之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	鬼怒川・荒川桜つつみの良好な桜つつみを形成するため。						
事業の概要	鬼怒川桜つつみの部分的な土壌入替、暗渠排水管布設、桜の植替及び、荒川桜つつみの維持管理業務。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,548		1,772		4,070	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	桜の植替合計本数	本	21	21	18	27
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	鬼怒川桜つつみについて、土壌入替及び暗渠排水管布設を国で、桜の植替（21本）を市で実施した。また、荒川桜つつみについて、適切な維持管理を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	区画整理事務		事業開始年度	平成26年度			
担当課	建設部 都市整備課		担当者	小堀 将孝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	土地区画整理事業の保留地が完売する。						
事業の概要	保留地の販売可能な場所を選択し、評価員会で意見を聞き、土地区画整理審議会で施行者が同意を得て、販売スケジュールに基づき、PRを行い希望者に対して用地を販売する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度	28年度	29年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	4,172	4,895	8,198			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	当該年度に売却した保留地販売区画数	区画数	10	19	27	
	成果	年度末における未販売区画数	区画数	12	9		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	当初予算において24区画の保留地を販売する予定であり、予算の8割相当分を売却したため。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上阿久津台地土地区画整理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	小堀 将孝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	魅力ある市街地の整備、住環境の優れた宅地供給の促進が図れる。						
事業の概要	事業遂行に向けての業務委託および工事ならびに各種補償。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	225,979		106,281		389,422	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	面整備率	%	90.1	91.8	93.6	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	H28末整備予定を91.8%としており、予定どおり整備することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結婚支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	総務部 企画政策課		担当者	金子 慎太郎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	結婚を望むが出会いが無い独身男女の結婚の希望をかなえる						
事業の概要	結婚を望むが出会いが無い独身男女に対して、婚活スキルアップ講座、婚活イベントを実施し、男女の出会いの場を提供することで結婚への機運を醸成する						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		1,750		1,882	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	婚活イベント参加者数	人		88		
	成果	婚活にイベントにおけるカップル成立数	組		23		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	婚活イベント参加者数については毎回男女共に定員に達している。また婚活にイベントにおけるカップル成立数についても、平成28年度においては50%を超える成立率となっており、達成度としては極めて良好である					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	開発候補地抽出調査事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	総務部 企画政策課		担当者	高柳友彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	市内における新規区画整理や民間開発等の候補地となり得る地域を抽出し、開発候補地として開発手法の検討と課題の整理を行い、実施事業や開発支援策の方向付けを行う。						
事業の概要	①市内全域を対象に開発候補地の抽出 ②候補地の状況整理、開発手法と課題の整理検討 ③候補地毎の方向付け ④開発候補地の選定と調査・開発手法及び今後の進め方整理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		1,858		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	調査事業により抽出された候補地の数	地区		3		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	市内の開発候補地について3地区（蒲須坂、上野、大中）が抽出され、それぞれの地区で課題や検討可能性が示され、一定の成果を上げた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	移住推進事業（加速化交付金）			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総務部 企画政策課		担当者	瀧澤喜彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	移住検討者に実際に本市での生活を体験してもらい、市の魅力、良さを実感してもらうことで移住を推進し人口増加を目指す。						
事業の概要	市が滞在用の住居を借上げ、移住検討者に滞在してもらい本市の生活を体験してもらう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		900	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	滞在した世帯の数	世帯		1		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	移住検討者1世帯（女性1名、その子1名）が滞在。本人から本市の良し悪しについての意見をもらう。魅力と課題として情報蓄積、別事業への資産として利活用した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公園管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	渡辺 和之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	適正な維持管理をすることにより、市民が安全で安心して利用できる公園とする。						
事業の概要	芝刈、除草、防除、樹木剪定、トイレの清掃 遊具等の保守点検、修繕						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	72,594		64,478		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	草刈・伐採等を実施した公園の数	箇所	70	70	70	70
	成果	公園施設（遊具）の修繕数	基	25	15	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市管理の公園（70箇所）について、年間を通じ草刈・伐採等の維持管理を実施した。また、全ての公園施設を点検し、15個の公園施設を修繕した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	お丸山公園等再生計画事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	渡辺 和之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	老朽化した、また、東日本大震災で被災した公園施設を修繕し、安全で安心な公園利用のため。						
事業の概要	「お丸山公園再整備基本計画」及び「さくら市公園施設長寿命化計画」に基づき、お丸山公園の公園施設を順次修繕する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	70,215		54,745		55,371	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	再整備実施面積	ha	4.4	4.4	4.4	0
	成果	補植された桜の本数	本	0	6	3	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	第3期エリア（4.4ha）の再整備工事を実施した。また、桜の植栽（6本）を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	草川用水環境保全補助事業			事業開始年度	平成 9年度		
担当課	総務部 企画政策課		担当者	高橋岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	草川・水と緑の散歩道周辺生活環境の美化を維持するとともに市民や市外の訪問客が同散歩道を利用しやすい環境を作る。						
事業の概要	市が一部景観を整備した草川用水は鬼怒川東部土地改良区が管理。その法面の環境保全作業（除草作業）に要する経費の30%を東部土地改良区に対し補助金として交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	107		107		180	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	作業実施日数	日	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	要望どおり、適切な法面管理がなされているため。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公園施設災害復旧事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	渡辺 和之			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	被災した公園施設の復旧のため。						
事業の概要	自然災害等により被災した公園施設について、迅速に復旧する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		1,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	活動	復旧した公園施設数	個		0		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	被災なし					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地籍調査事業			事業開始年度	昭和49年度		
担当課	産業経済部 農政課		担当者	神山修也			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	土地トラブル防止、公正課税、成果の数値情報化による電算管理がされ利便性が向上する。又、公共事業等の正確な計画策定、災害時等の土地境界の復元等が可能となる。						
事業の概要	負担金交付申請→県・市における実施地区公示→地元説明会→境界立会→一筆地測量→閲覧→地籍図、地籍簿作成→国への認証請求→認証済地区の地籍図、地籍簿の法務局送致						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	15,548		18,329		23,863	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
	成果	地籍調査完了面積	Km ²	64.07	64.19	64.39	
	成果	数値情報化完了面積	Km ²	57.19	57.19	57.33	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	国土調査法に基づき諸工程を実施し、年度末の県の確認検査までに終了することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	都市計画審議会運営事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	轡田親志			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	都市計画を決定・変更に必要な市長への答申。						
事業の概要	都市計画を決定・変更する場合、市長の諮問に基づき、事前協議や、調査審議を行う。 日額5,500円						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		50		121	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		市長への答申件数	件	0	2	2	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	必要な市長への答申がなされた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	用途地域・地区計画策定事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	建設部 都市整備課			担当者	轡田親志		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市街地における良好な住環境の形成や、商業地・工業地などの適正な配置による機能的な都市活動の確保。						
事業の概要	用途地域等の指定・見直しの検討する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		10,109		620	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		見直しされた用途地域等の面積	ha	0	19	0	
		地区計画を決定した地区数	地区	0	0	0	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	土地利用に適正な指導がなされた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	都市計画図整備事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	轡田親志			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	都市計画に関する法規制情報の電話による問い合わせや窓口サービスでの効率化を図り、都市計画立案や各部門での情報共有及び有効活用。						
事業の概要	都市計画基本調査（5年毎）及び都市計画情報管理システム修正など。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	27年度		28年度		29年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		1,296		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	27年度 実績	28年度 実績	29年度 計画	30年度 計画
		都市計画図販売枚数	枚	39	25	25	
		白地図販売枚数	枚	51	50	50	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	都市計画情報が最新データに更新され、各種問い合わせに対応できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		